

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課 文化財班	所属長名	朝比奈 竹男	電話	481-0304
-----	-------	-----	------------	------	--------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3805	事務事業名称	不特定・公共事業埋蔵文化財調査事業				短縮コード	経常	臨時	3805		
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	文化財保護法, 文化財保護法施行令, 千葉県文化財保護条例, 千葉県文化財保護条例施行規則, 千葉県文化財補助要綱								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
昭和26年文化財保護法, 昭和30年千葉県文化財保護条例の制定を受け, 昭和46年に八千代市文化財保護条例を制定し, 市民共有の財産である文化財を保護し, その保存と活用のため必要な措置を講じ, それにより市民の文化向上と文化の進歩に貢献すべく事業を開始した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	02	第2章教育文化都市をめざして					
市内において民間開発や公共事業が次々と進められており, 埋蔵文化財の保護のための発掘調査は今後とも継続的に続くものと判断する。特に, 不特定遺跡調査事業は調査費の負担の困難な個人等のためには大切な補助事業であり, 必要性は増加するものと思われる。また, 過去に行った公共事業関連等の埋蔵文化財発掘調査の整理作業は遅延しており, 早急な対策を必要としている。					大項目(節)	03	第3節文化					
					中項目	02	2. 文化財					
					小項目	03	(3)埋蔵文化財の保護と活用					
					細項目	02	②整理事業の推進と活用					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 (誰を何を対象にしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市域に所在する埋蔵文化財 ・市内で土木工事を伴う開発事業等を行う中小・零細企業及び個人 ・市が行う公共事業の事業者としての市 							
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	<p>※平成23年度に実際に行ったこと: 調査費の負担が困難な中小・零細企業, 個人を対象とした県費補助事業としての不特定遺跡調査事業調査を3件実施した。また, 公共事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を2件実施し, 記録保存を進めた。</p> <p>※平成24年度に計画していること: 公共事業関連遺跡の調査や調査費の負担の困難な中小・零細企業, 個人を対象とした不特定遺跡調査事業を活用した発掘調査を実施し記録保存を推進する。さらに, 未報告の調査事業の報告書を刊行し, 調査記録の公開を進める。</p>							
意図 (何を狙っているのか)	市内に所在する埋蔵文化財を保護し, 必要に応じて記録保存を実施する。							
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外							
区分	指標	内容	単位	22年度		23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市域の面積	km ²	51.27	51.27	51.27	51.27	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	発掘調査した遺跡の面積	m ²	221.1	5,700	8,614.43	3,000	
	指標2	記録保存を行った遺跡数	箇所	1	3	5	4	
	指標3							
成果指標	指標1	発掘調査・整理した遺跡の数	箇所	2	3	5	4	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3805	事務事業名称	不特定・公共事業埋蔵文化財調査事業			所属名	教育総務課 文化財班	
	単位	22年度		23年度		24年度		
		実績	計画	実績	計画			
事業費(A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円		500	360	500	
		地方債	千円					
		一般財源	千円	2,379	2,951	1,212	2,735	
	その他	千円						
主な事業費の内訳		1 不特定遺跡発掘調査(0件)0㎡ 2 公共工事関連遺跡調査1件221.1㎡ 3 公共事業関連遺跡整理1件		1 不特定遺跡発掘調査(1件)200㎡ 2 公共事業関連遺跡整理2件約5,500㎡		1 不特定遺跡発掘調査(3件)3,300㎡ 2 公共事業関連遺跡調査2件5,314㎡		1 不特定遺跡発掘調査(2件)3,000㎡ 2 公共事業関連遺跡整理2遺跡
人件費(B)		千円	13,309	13,062.5	3,515.5	5,614		
トータルコスト(A)+(B)		千円	15,688	16,513.5	5,087.5	8,849		

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「埋蔵文化財の保護と活用」を推進するため埋蔵文化財調査事業を実施しており、結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	民間業者である中小・零細企業及び個人による開発事業、または今後とも継続的に行われる公共事業に伴って、発掘調査は今後も必要である。また、公共事業の調査において整理事業の完了していない事業があり、早急に報告書刊行を実施する必要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	公共事業に関連して行う埋蔵文化財の調査は市が単独で独自に行う事業である。また、不特定遺跡埋蔵文化財調査事業は、県費の補助を受けることにより、市が補助事業者として直接行うことを前提とした事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	公共事業関連埋蔵文化財調査や不特定遺跡調査事業などの調査の対象は補助事業としてあるいは公共事業として限定されており適切である。また、意図についても同様に適切である。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	埋蔵文化財専門職員の増員と育成をすることにより、過去に行われた不特定遺跡調査事業及び公共事業関連遺跡調査事業において未整理のため報告書が刊行されていない事業の完結を図ることができる。また、不特定遺跡調査事業を活用することがより可能となり、埋蔵文化財の保護を積極的に推進することができる。			
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	類似事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	<input type="checkbox"/> ない		2		実施主体(所管部署)	
		担当職員の増員と経費の増加を伴う。				

コード	3805	事務事業名称	不特定・公共事業埋蔵文化財調査事業			所属名	教育総務課 文化財班																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		埋蔵文化財の発掘調査は公共事業、中小・零細企業、個人を問わず土木工事を伴う開発事業等は今後も行われ、社会・経済の変動とともに増減はするものの必要性は増加する。とりわけ、個人、中小・零細企業に対する補助事業の活用は今後の埋蔵文化財行政にとって、重要な位置を占めてくると予想される。また、報告書が刊行されていない、記録保存の未完了なものが残されており、早急に本整理・報告書刊行を行なう必要性は増大する。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	発掘調査の経費は、本事業に該当する開発事業や公共事業の件数や規模に左右されるが、的確に事業に対応するためには人員と費用は増加する。		
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
費用負担の困難な事業者等の要望は多く、増加が望まれている。	

所属長コメント	<p>公共事業等関連埋蔵文化財の調査には、関係各課と事前の調整を密に対処してきた。一方、公共事業等の調査で整理が未実施なものに対し、今後も関係部局と協議しながら整理を進めていきたい。また、県単独補助事業である民間等の個人・中小企業等を対象とした不特定遺跡調査事業は、今後も県教育委員会と協議し歳入化を図り、市費負担の軽減を図りたい。</p> <p>なお、公共事業及び補助金事業であるため市の直営調査での対処となり、職員増を含めて検討する必要がある。</p>			
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	整理作業に係る職員増や報告書等の刊行については、費用対効果を検証したうえで、市関係部局や県教育委員会と必要な協議を行い、順次推進すること。		